

## 市民の皆さまのご質問に、お答えします。

「水と生活」では137号からアンケートを行い、多数のご意見やご質問をいただきました。そこで今回は、これまでにお寄せいただいたアンケートの中から、ご質問の多かったものをいくつかご紹介いたします。また、今回ご紹介できなかったご質問も、できる限りホームページでご紹介したいと考えています。ホームページも併せてご利用ください。



### Q 水質検査はどのように行っているの？

**A** 水道局では、水質検査計画\*に基づき、水道水の原水、浄・配水場から送る水道水、じゃ口から出る水道水の水質を水質検査課で検査しています。水質検査計画は、「検査地点」、「検査を行う項目」、「検査の回数」などについて定めたものです。「毎日検査項目」は、給水栓で1日1回検査を行うことが法令で義務付けられている項目で、色・にごり・残留塩素を市内16か所の公園のじゃ口などで検査しています。「水質基準項目」は、基準値以下で給水することが法令で義務付けられている50項目で、一般細菌・大腸菌など検査項目によって月1回～年1回検査しています。

\*平成22年度水質検査計画については11ページまたはホームページをごらんください。



### Q なぜ水道料金は市によって違うの？

**A** 水源からの距離、水源の種類(ダム、河川、地下水、受水\*)、水道施設や設備の建設に係る費用、人口密度、産業構造などによる需要形態の違いなど、事業者によって水道事業を行う環境が異なるためです。さいたま市は自らの水源は少ない状況で、水道水の90%以上を埼玉県から購入しています。また、ライフラインとしての水道施設の耐震化、非常時における給水体制の整備、石綿管解消などの老朽管対策も積極的に推進してきました。こうした施設の維持・管理などに係る費用や、市民の皆さまに水を供給するまでの経費は、水道料金でまかなわれています。このような理由から水道料金は市によって異なります。

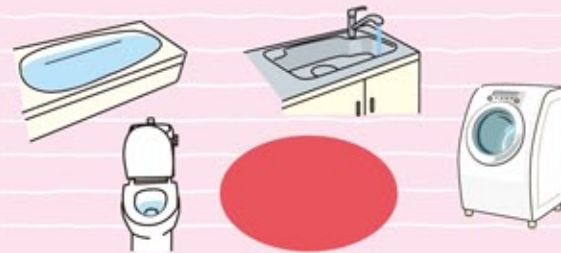
\*県などの水の卸売事業者(水道用水供給事業者)から、浄化された水を購入すること



へえ～！  
いろんなことが  
分かったわ！

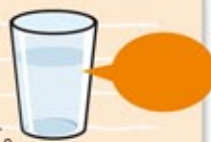
### Q 水は1人1日どのくらい使われているの？

**A** 人が生きていくために必要な飲料水は、1人1日3ℓと言われています。ですが、水はトイレ、お風呂、炊事、洗濯など、生活のさまざまな場面で使用されます。飲み水以外で使用される割合が圧倒的に多く、「生活」という観点でとらえると1人1日約250ℓが目安となります。



### Q 水の保存期間はどのくらい？

**A** 水道水には塩素が含まれていますので、塩素が残っている期間は雑菌の繁殖を抑えることができます。清潔な容器にぎりぎりまで水を入れ、しっかり密閉した状態で冷蔵庫などに保管する場合は、数週間程度の保存期間が見込めますが、さまざまな条件によって異なりますので、水道局では水の保存期間を概ね3日程度と考えています。



### Q 電気やガスのように、毎月の請求にならないの？

**A** 水道メーターの検針、水道料金の請求に要する人件費、請求書の郵送料など、請求に関わる業務に経費がかかります。2か月に1度のご請求にすることで、コスト削減を図っています。

コスト  
削減の  
ためなのよ！



## 安全性をしっかりと確保しながら、効率性を高めていく。 平成22年度も健全な水道事業の推進に努めます。

### 平成22年度予算のあらまし

水道事業は皆さまからの水道料金によって運営されています。水道局では、生活に欠かせない安全な水を安定してお届けするために、事業を進めて参ります。

#### 主な実施事業

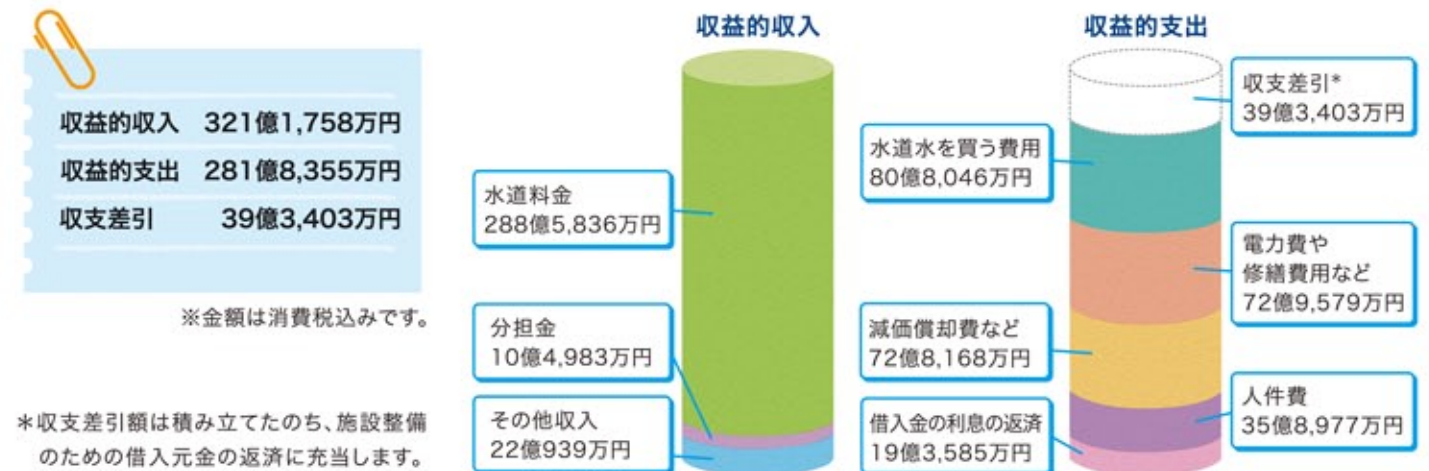
- 障がい者への就労支援として新たに水道メーターの再資源化分類作業を福祉施設に委託する事業を開始します。
- 老朽水道管の更新工事や浄配水場の改良工事を行います。
- 鉛給水管の解消事業を推進します。
- 水資源の有効活用を図るための事業を強化します。

#### 業務量

給水件数	559,930 件
給水量	135,515,470 m <sup>3</sup>
河川水	124,565,820 m <sup>3</sup>
地下水	10,949,650 m <sup>3</sup>
1日平均給水量	371,275 m <sup>3</sup>

#### 支出・収入の各計算

##### 水道水をお届けするための予算



##### 施設をつくるための収入支出

